

令和2年10月22日

保護者の皆様

昭島市立富士見丘小学校
校長 稲垣 達也

富士見丘の子供たち

本日は、病気による欠席児童が0人でした。体育科授業参観への学習を終え、疲れが出る今週でしたが、多い日でも2～3名の欠席です。子供たちにとって大切なことは、体の疲労ではなく、心の充実なのだとあらためて実感しました。

明確な目標に向かって学び、それをやり遂げた結果、得られる達成感や満足感は計り知れないものがあります。毎朝「お早うございます」と言って嬉しそうに登校してくる姿、「校長先生、さようなら、また明日ねえ～」と言って笑顔で下校していく姿を見ていると、子供たちの心が満たされていることを肌で感じます。

しかしながら、様々な事情や背景から、欠席がちな子供たちもいます。願わくば、すべての子供たちが心穏やかに学校生活（集団生活）の中で、学びを深めてほしい。それは、すべて学校の責務（責任）です。誰もが足が向く楽しい学校を実現させることに、これからも全力を尽くして参ります。

さて、感染症拡大防止のために多くの行事が中止となる中、先週17日（土）の体育科授業参観も雨天中止となり、子供たちも保護者の皆さまも悔しい思いでいっぱいだと思います。本当に残念でなりません。

しかし、前日の児童日には、すべての子供たちが真剣な眼差し、素晴らしい表情で、生き生きと表現することができました。低学年からは「一生懸命さと表現の楽しさ」が、中学年からは「相手意識のある表現の喜び」が、高学年からは「凛とした力強い姿勢」が、それぞれダイレクトに伝わってきました。この日の大いなる成果は、子供たちの明日へ、未来へつながるものと確信できるものとなりました。

皆様の温かい励ましやご支援を受け、子供たちは精一杯を尽くすことができました。皆様のご協力に、職員一同、心より感謝申しあげます。

もう一つ、嬉しいお知らせがあります。（昭島市議会）令和2年第3回定例会において、日光移動教室の代替え宿泊予算案が議決されました。昭島市として、小学校6年生を対象に、フォレストイン昭和館の宿泊費を支出してくださるものです。

本校といたしましては、これを、コロナ禍の混沌とした世界情勢の中でも、子供たちが希望をもって本質を見抜き、未来の創り手として社会に向き合い、課題を解決しながら生きていく大きな学びにつながる貴重な機会と捉えています。

そのために、次の3つを子供たちに課しました。

- ・子供たちが課題意識をもって、主体的に意思決定し、実践すること。
- ・その実現を目指す協働的、実践的な集団活動を行うようにすること。
- ・宿泊行事の成果を、残りの小学校生活や将来の生き方につなげていくこと。

これを受け、6年生は、総合的な学習の時間の学び「コロナと共に生きる」と結びつけ、これからの未来社会の正解の無い、そんな問題に対して皆が納得できるような解を見出しながら、主体的な意思決定と実践を始めたところです。

この活動を、どうぞ温かく見守っていただければと存じます。